

# 建築人

Osaka Association of Architects & Building Engineers  
Newsletter "Kenchiku-Jin" No.723

2024

9





# 建築人

2024.09 No.723

Osaka Association of Architects & Building Engineers  
Newsletter "Kenchiku-Jin"

表紙の建築 「箕面の家」2020年

第67回 大阪建築コンクール 渡辺節賞部門 渡辺節賞 受賞作品  
設計：本岡伊藤アーキテクト  
施工：コムウト  
撮影：Yosuke Ohtake

閑静な住宅街に建つ住宅である。敷地一杯の気積を確保しながら、L型の塀の上に周辺環境を取り込む大きな腰窓を持つ小屋が乗る構成になっている。腰窓と吹抜、架構、個室、大きな家具によりスケールと居場所を横断し、内外のあり方を多様なものになっている。

2 大阪浪漫

4 Gallery 建築作品紹介

「HAMMER CASTER Sales Office」

設計：アルト建築設計事務所

施工：三栄建設

マクセル「クセがあるスタジオ」

設計：kvalito

施工：木村工務店

8 動静レポート

9 Topics

10 Information

12 News of Note

14 記憶の建築

「岡山県庁舎」1957年

新たな時を刻み始めた庁舎建築 / 松隈 洋

## 大阪浪漫

(1984年・中之島エリア)

写真・文 喜多 章

中之島エリアを撮影すべく北から南方向に俯瞰して見下すと、真ん中に在るビルの屋上が緑化されており、この屋上凄いなと思いシャッターを切った事を記憶している。

それから数年後、仕事からみで村野藤吾設計の建築を多く撮影する機会があり、その時の建築が新大ビルであった事を知り、中判カメラで内部や屋上を夢中で撮影した私にとって不思議な接点のあったショット。

建築人 No.723 2024年9月号

監修 公益社団法人大阪府建築士会 建築情報委員会

編集 建築情報委員会『建築人』編集部

部門長：田鍋 稔

委員長：松下典央(編集人代表)

編集人：武藤優哉 石上芳弘 荻窪伸彦 河崎太平

昇 勇 橋本頼幸 春岡須磨子

三谷勝章 村上栄司 山本恭史

事務局：隅原正太 母倉政美

ロゴ・フォーマットデザイン 芝野健太

印刷 中和印刷紙器株式会社

令和6年9月1日発行

発行人：会長／岡本森廣

発行所：公益社団法人大阪府建築士会

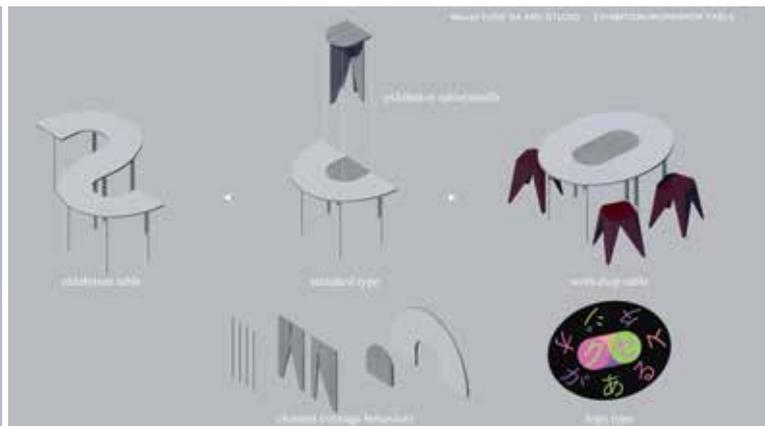
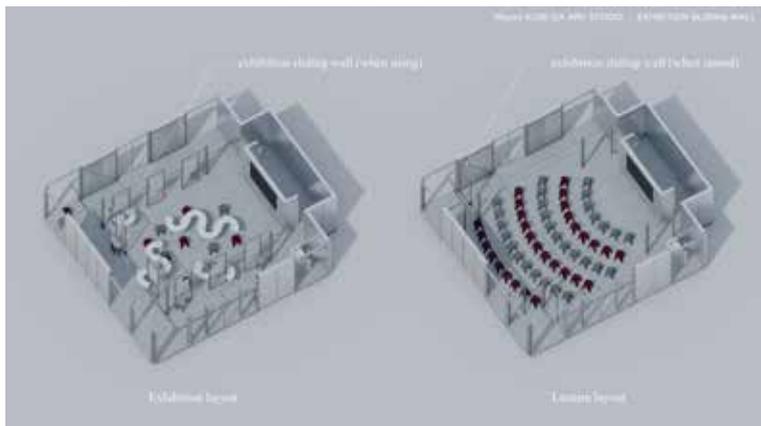
〒540-0012 大阪市中央区谷町3-1-17 高田屋大手前ビル5F

tel. 06-6947-1961



東大阪市の幹線道路沿いに、事務所、ショールーム、製品倉庫を備えた新営業拠点を計画しました。周辺は住宅や学校が多く、学校と連携して定期的に社会見学ツアーを実施し、子どもたちや住民に企業活動を親しんでもらいます。建物は広々としたエントランスとガラス張りのファサードを持つ開放的なデザインで、敷地内には豊かな緑化を施し、自然との調和を図りました。昼夜を問わず地域に新たな魅力を提供し、夜間にはライトアップされることで、地域のランドマークとして親しまれます。このアプローチにより、地域社会との一体感を強め、企業と住民が共に発展していくことを目指した。

所在地：東大阪市  
用途：事務所・倉庫  
竣工：2024.04  
構造規模：S造3階建  
敷地面積：5,157.77㎡  
建築面積：1,221.59㎡  
延床面積：2,805.43㎡  
写真：フォトスタジオ505



「アート&テクノロジー・ヴィレッジ京都（以下、ATVK）」に建つ、マクセル株式会社の展示スタジオである。プログラムの特性として「回遊性」と「中心性」の双方が求められたことから、中央に「九間（このま）」のホールを内包した、回廊形式のプランとした。ホールと回廊の間には、ワイヤーメッシュによる、透過する可動式展示壁（建具）を設え、状況に応じて変容する空間を意図している。オリジナル什器（TABLE\_MX）は、ロゴマークを踏襲しながら、ワークショップの際は円卓として、展示の際は空間に動きを与える展示台として、空間の変容を助長する。外周部のワイヤーは、ATVK【アート/テクノロジー/ヴィレッジ（ネイチャー）】の名前にちなんで、ストリングアートであり、テクノロジーの要素を持った構造ワイヤーであり、自然の要素を持った緑化ワイヤーである。（水上和哉/kvalito）

所在地：京都府大山崎町  
用途：展示場  
竣工：2024.03  
構造規模：木造  
地上1階  
敷地面積：23,310.00㎡  
建築面積：120.91㎡  
延床面積：91.00㎡  
写真：足袋井竜也

# 2024年 「建築人賞」作品募集

## 「建築人Gallery」掲載作品は 『建築人賞』の候補作品です。

公益社団法人大阪府建築士会は、会員サービスの一環として会報誌「建築人」を毎月発行しています。本会会員をはじめ官公庁、大学、図書館、出版社、報道機関等に頒布し、発行部数は約3,000部です。「建築人」の誌上で「Gallery」の建築作品紹介コーナーを設け、現代建築の様相を反映できるものとして好評を博しており、毎年1月号～12月号のGalleryに掲載された作品が「建築人賞」の審査対象になります。

「建築人賞」は2009年に創設され、個人の審査委員長により選考し、表彰式は翌年5月の本会の定時総会で執り行われます。「建築人賞」「同賞新人賞」「同賞奨励賞」「同賞佳作」があり、「建築人賞」「同賞新人賞」の設計者には記念品が授与され、各賞の建築主、設計者、施工者にはそれぞれ賞状が贈られます。ぜひ本誌に皆様の建築作品の掲載をお願いいたします。



建築人賞



建築人賞新人賞



佐久間 靖 (ガラスアーティスト)

1971年 大阪府高槻市生まれ  
1996年 神戸学院大学 法学部 卒業  
1997年 関西ロケレールプロダクションガラスアーティスト 三浦啓子氏に師事  
2016年 株式会社 Jiku Art Creation 作品制作に従事

## 「建築人」Gallery 掲載要項

### ■ 掲載概要

1頁カラー、写真4点程度、説明文300字程度

### ■ 掲載事項

- ・建築主、設計者、施工者、協力会社
- ・所在地、用途、竣工年、構造規模、敷地面積、建築面積、延床面積

### ■ 掲載料

110,000円(本体100,000円+消費税)

※1 初回割引 88,000円(本体80,000円+消費税)

(過去10年間で設計者及び施工者がGalleryに掲載されていない場合が対象です)

※2 若手初回割引 55,000円(本体50,000円+消費税)

(※1を満たす方のうち、40歳以下かつ建築設計事務所を主宰されている方が対象です)

### ■ 問合せ・申込み

公益社団法人大阪府建築士会事務局 担当:母倉

e-mail: info@aba-osakafu.or.jp TEL: 06-6947-1961 FAX: 06-6943-7103



審査委員長 磯 達雄

1963年 埼玉県生まれ  
1988年 名古屋大学工学部建築学科卒業  
日経BP社入社「日経アーキテクチャ」編集部勤務(～1999年)  
2001年～ 桑沢デザイン研究所非常勤講師  
2002年 フリックスタジオ共同主宰(～2020年)  
2008年～ 武蔵野美術大学造形学部芸術文化学科非常勤講師  
2020年～ Office Bunga共同主宰  
2023年～ 早稲田大学芸術学校非常勤講師

第67回

# 建築士会全国大会

# おおさか 大会

Architecture to Social Design

67th Japan Federation of Architects and Building  
Engineers Associations OSAKA Conventions

建築から  
ソシアルデザイン

# 2025.9.19

グランキューブ大阪

530-0005 大阪府大阪市北区中之島5丁目3-51

- 主催：公益社団法人日本建築士会連合会
- 共催：近畿建築士会協議会
- 主管：公益社団法人大阪府建築士会

# 動静レポート

## 会長動静

- 7/31 新潟県建築士会・田中会長面談
- 8/ 5 大阪大会実行委員会
- 8/ 6 大阪府収用委員会
- 8/ 7 能登半島災害調査技術者報告会  
在阪4団体会長・支部長会議
- 8/ 9 公共施設 BIM カルテ計画会議  
臨時運営会議
- 8/21 守口市長面談  
大阪府収用委員会協議
- 8/23 日本建築士会連合会教育事業委員会
- 8/27 交野市長面談

## 会長・役員による大阪府及び市町村訪問

◎ 8/21 守口市長・瀬野憲一市長と面談



牧田専務理事、瀬野市長、横田副会長

◎ 8/27 交野市長・山本景市長と面談



左より/牧田専務理事、田中理事、岡本会長、山本市長、徳岡副会長

## 広域災害損害調査者が見た「最大震度7 能登半島からの報告」

地域まちづくり委員会・防災分科会の企画により、1月1日に発災した能登半島地震に係る現地での損害保険調査を担当された上高原優生氏を講師としてお招きし、8月7日

に報告会を開催しました。当日は本会会議室に20人、WEBで12人の皆様に参加いただき、机上ではなく実際の調査体験に基づいたご報告内容を通じて、あらためて防災について考える大変貴重な機会となりました。



## 令和6年建築士学科試験 合格発表

令和6年二級建築士、木造建築士「学科の試験」の合格者が8月26日に発表されました。(全国)

学科試験	二級	木造
実受験者数	17,602人	560人
合格者数	6,883人	321人
合格率	39.1%	57.3%

設計製図試験は、二級建築士は9月15日に「観光客向けのゲストハウス(簡易宿所)(鉄筋コンクリート造)」、木造建築士は10月13日に「専用住宅(木造)」の各課題で実施されます。

## 第42回近畿建築祭「しが大会」

昭和50年に発足の近畿建築祭は、近畿2府4県の建築士の活動発表ならびに相互交流、建築士からの地域及び市民への情報発信を目的として開催しております。滋賀県建築士会が主管する今大会は「琵琶湖大津を翔る～まちを知り、歴史を重ねる建築士～」をテーマに、9月28日に開催されます。

大会コンセプトとして、「歴史を知り未来を探る建築士の在り方」を示す一助となる研修内容は畿内の建築士の実務と社会貢献活動にも反映されるものです。

建築史家の倉方俊輔氏(大阪公立大学大学院教授)がみる「関西・滋賀の建築風土の提言」等に対して、近建協の各部会長等がパネ

ラーとなってこれからの建築士像をセッションし、「近畿あーきてくと」では、芦澤竜一氏(滋賀県立大学教授)とともに琵琶湖・沖島への船内でエクスカッションを兼ねた学習ができる新構成の企画にもご期待ください。

## 第4回近畿学生住宅大賞の実施

近畿建築士会協議会が主催し、本会が主管する第4回「近畿学生住宅大賞」を実施します。同賞は近畿圏内の建築系大学、高専、専門学校に在籍する学生個人またはグループ(院生は除く)より、各学校の住宅課題として制作した作品をご応募いただき、社会性、文化性、芸術性の観点で優れたものを表彰し、勉学の励みにしていただくことを目的としたものです。

応募期間は9月1日～23日、最終審査及び表彰式は12月7日の予定です。詳細は本会ホームページをご参照ください。

## 第67回建築士会全国大会

### 「おおさか大会」のポスター決定

2025年9月19日(金)に第67回建築士会全国大会を日本建築士会連合会が主催、本会が主管して開催します。大会は建築士が担う社会的役割と責任に対する意識の高揚を図り、建築文化の進展に寄与するために相互の連帯を一層深めることを目的としています。大会企画の概要は適宜本誌又はHPで紹介してまいります。

### 【ポスターデザインの意図】

(ポスターは本誌前ページに掲載)

おおさか大会テーマの「建築からソーシャルデザインへ」は、多様化する建築という行為に対する問いかけです。

建築物は生み出すだけに留まらず、都市の発展や独自性をも生み出す主要な機能としてこれからも更に重要視されていくものとして捉え、ポスタービジュアルを構成しました。

デザインを創り上げるにあたり、大阪の過去と未来を「水」「人」「街」の流れに重ね、その動きを色彩豊かに表現しました。

コンセプト/青年女性委員会 石丸優子  
デザイン / デザイナー 山田陽介

## 「国宝 住吉大社を語る」—最古の神社形式の中の住吉造—

日程：令和6年8月3日(土)

会場：住吉武道館(住吉大社 境内)

参加者：38名

「すみよっさん」は大阪に住む者には馴染みのある神社ですが、国宝であることはあまり知られていないのではないのでしょうか。

5年ほど前に見学会が開催されましたが、このときは社会科学的なアプローチで住吉大社にまつわる逸話や伝承などを中心に行われました。今回は人文科学的な側面から、建築歴史学の立場で住吉大社を見つめ、その両面を極めることにより身近な国宝を再認識する趣向で企画しました。講師は永年建築歴史を研究しその保存に尽力されてきた、名古屋工業大学名誉教授の麓和善先生にお願いしました。

講演の前半は「文化財指定の経緯とその意義」に関する内容の話でした。日本の歴史を俯瞰するに、神社建築は神代の昔より様々な変遷を経たものの脈々と続いてきました。江戸から明治に代わり鎖国が終わり国が開かれるにつれて、日本の文化財が海外

に流出する懸念が起きました。それを防ぐために古社寺保存法(明治30年制定)、文化財保護法(昭和25年制定)などが制定されました。その法整備の関連告示に、例えば「住吉大社のどの部分をこの法の対象にする」というふうにきめ細かい名称や部位・形式・構造などが表現されています。そういった内容と現状の姿を比較することにより住吉大社の改修の歴史・変化などが読み解けます。その中で特に注目したいのが、第一本宮から第四本宮と四つの本殿がありますが、第四本宮の配列の違いは祭られているご神体の違いによるものであること、それぞれの本宮で私たちが拝むのは拝殿であり、その奥にある渡殿でつながった本殿こそが古社寺保存法で指定された国宝文化財であることの説明でした。

さらに屋根形式の変遷の説明では、伊勢神宮の「神明造」、出雲大社の「大社造」、住吉

大社の「住吉造」を原点として、その後、向拝や棟の複合化、経済力などによって、「八幡造」「春日造」「権現造」など様々なバリエーションが作られたという学説の紹介もなされました。

講演会は8月3日の暑い日に開催され会場もさほど広くなかったのですが、参加者の皆さんには熱心に講演を聞いていただきましたことをここに感謝申し上げます。

この後、住吉大社は9月に観月祭が開かれ太鼓橋で舞が奉納されますが、いつもと違った趣きで見ることになるかもしれません。



田中義久(特任顧問)



## 建築相談室から(87) 工事中のトラブル・事故

自身の工事中や隣地の工事などで自身の建物が被害が生じることは、建築工事ではよくあることで建築に仕事で携わる人にとっては日常的なことかもしれませんが、一般の人にとっては一大事です。

### 外壁に穴をあけられた

エコキュート取替工事をした。業者から、緊結するために外壁に穴をあけてボルト止めをして良いかと問われたが、外壁には穴をあけないでほしいと伝えた。ところが、職人が穴をあけてしまった。外壁補修方法と業者紹介してほしい、との相談。外壁業者の紹介は建築相談ではできない。そもそも外壁の補修方法も含めて、エコキュートを取替えた業者と協議をした方がいいと回答されています。

### 隣の工事で被害を受けた

隣地工事中何かをぶつけられて外壁が損傷した。パテで埋めると言われたが納得でき

ない。また、隣の建物の窓の位置がこちらのバルコニーと重なっているため目隠しフェンスをつけてもらいたいが可能か、という相談。補修方法も含めて隣の工事業者と話合うほかない、目隠しフェンスの設置についても申し入れて協議してくださいと答えています。

### 石垣が崩れる

四年前にハウスメーカーで新築した。大雨で石垣が壊れた。石垣は新築時に一部切り取って、植栽を植えて駐車場を作った。新築時に外構を依頼したのはハウスメーカーと別の業者。石垣について、市役所に相談したが所有者の責任なので自分で直すように言われた。石垣補修の見積をとったが1000万円近くかかると言われた。建物は深基礎なので問題ないと思う。ハウスメーカーに責任追及できるのか、という相談。基本的に責任は外構業者になると考える。念

のためハウスメーカーに基礎形状は確認したうえで、法律相談にするのか話し合いで解決を図るのかはよく考えてください、と回答しています。

### エアコン業者が筋かきを切り欠く

3階建て木造住宅。2階リビングのエアコン設置の際、エアコン業者が筋かきを切り欠いた。壁をばらして再度施工し直してもらおうが、その後問題が無いことを確認するために耐震診断を実施したい、という相談。耐震診断は手直し工事の善し悪しを評価するものではない。そのような趣旨で実施する耐震診断は意味が無い。それよりも工事が正しく行われているかを確認することが大切、と回答しています。

### 一般の人がトラブルに巻き込まれると

取るに足りないことからちょっとピントがずれたことまで感じ方は様々ですが、それを知っておくのはトラブル対応に役立ちます。

橋本頼幸(建築相談委員会幹事)

## 建築士会からのお知らせ

### 既存建築物耐震診断等の評価

不特定多数が利用する施設や沿道建築物など、申込者が検討した建築物の耐震診断及び耐震補強計画について、専門的観点のもとに審査・審議を行い、妥当であると認める申込案件に対して評価書を交付します。

(業務内容)

耐震診断報告書や耐震補強計画書の審査、評価等

(対象建築物)

公共・民間等の建築種別、所在地、用途、規模、構造種別は問いません。

(会員特典)

申込者又は診断等実施者が本会会員の場合は、評価手数料が10%割引となります。

### 【WEB版】確認申請のプロ養成講座 初級編

8/1～10/31 CPD3単位

なかなか教えてもらえなかった確認申請。その基本を知るだけで、あなたは確認申請のプロと呼ばれる。訂正項目が少なく、審査がしやすい申請図面が作成できれば建築着工も安心!常に変化している確認申請の世界。住宅の省エネ適合義務化や4号特例の縮小、そして申請のデジタル化による電子申請などの最新事情がわかる。

★フォローアップ付き!

受講者の皆様には確認申請書の書き方等に関する質問に対応いたします。

※2024年2月28日に実施した同名の講習会と5～7月に配信した同名講座と同内容です。視聴期間 8/1(木)10:00～10/31(木)終日

配信方法 WEB講習

受講料 建築士会会員:6,000円

後援団体会員:6,500円

一般:7,000円

主催 (一社)近畿建築確認検査協会

共催 (公社)大阪府建築士会

### 令和6年度 建築士定期講習

10/18、11/20、12/13、1/22、2/4、3/27  
CPD6単位

建築士法の規定により、建築士事務所に所属するすべての建築士は3年以内ごとに定期講習を受講しなければなりません。本年度は令和3年度に本講習を受講された方や、建築士試験に合格された方が対象となります。未受講者は懲戒処分の対象となりますので必ず年度内に受講してください。

▼対面講義

日程・会場・定員

※10/18(金)大阪府建築健保会館 90名

※2/4(火)大阪YMCA会館 200名

▼DVD講義

日程・会場・定員

11/20(水)大阪府建築健保会館 90名

※12/13(金)大阪府建築健保会館 90名

1/22(水)大阪府建築健保会館 90名

3/27(木)大阪府建築健保会館 90名

※の日程 大阪府建築士会が運営

※以外の日程 大阪府建築士事務所協会が運営

注)各回定員に達し次第、受付を終了します。

時間 9:15～17:00(各講習日共)

受講料 12,980円(消費税含。事前入金)

申込 下記URLよりお申込みください。

インターネット申込みができない方は、大阪府建築士会HPの定期講習の案内をご確認ください。

[https://www.jaeic.or.jp/gyomu/off\\_teiki/index.html](https://www.jaeic.or.jp/gyomu/off_teiki/index.html)

### 令和6年度 監理技術者講習

9/26、10/23、11/21、1/15、3/7 CPD6単位

本講習会は建設業法に基づく法定講習であり、建築に特化したテキストを使用し、経験豊富なベテラン技術者の講師による解説と映像で、実務に役立つ情報を提供いたします。なお、監理技術者以外の建築士や技術者の方も受講が可能です。日頃の工事監理業務に役立ちますので、ぜひご受講ください。

日時 9/26(木)、10/23(水)、11/21(木)、

1/15(水)、3/7(金)

8:55～17:00

会場 大阪府建築士会 東会議室

定員 30名(申込先着順)

受講料 WEB申込み9,500円

郵送申込み10,000円

申込 日本建築士会連合会HPより

<http://www.kenchikushikai.or.jp/torikumi/news/2015-07-28-2.html>

### 既存住宅状況調査技術者講習

新規講習11/13

更新講習10/9、12/11、3/12

CPD新規5単位、更新2単位

既存住宅状況調査は、登録機関の講習を修了した建築士のみ認められる業務です。ぜひ本講習で新たな業務の資格を取得してください。令和3年度に本講習を修了された方は本年度が有効期限のため更新講習をご受講ください。

▼新規講習(DVD)

日時 11/13(水) 9:30～17:00

会場 大阪府建築士会 東会議室

定員 30名(申込先着順)

受講料 WEB申込21,450円

郵送申込22,000円

▼更新講習(DVD)

日時 10/9(水)、12/11(水)、3/12(水)

13:30～17:00

会場 大阪府建築士会 東会議室

定員 30名(申込先着順)

受講料 WEB申込17,000円

郵送申込17,600円

申込 日本建築士会連合会HPより。上記以外にオンライン講習も開催。

<https://www.kenchikushikai.or.jp/koshukai/kizonjyutakujyokyocho.html>

### 既存木造住宅の耐震診断・改修講習会(一般診断法)

12/3 CPD5単位

本講習会は、大阪府及び府内市町村の木造住宅耐震診断・改修の補助を受けることができる技術者の養成を目的としています。講習の修了者名簿は大阪府内の市町村等に常備し、耐震診断を希望する建物所有者等か



Informationの詳細及び申込みは大阪府建築士会ホームページに掲載しています。  
<http://www.aba-osakafu.or.jp/> メール [info@aba-osakafu.or.jp](mailto:info@aba-osakafu.or.jp)  
 TEL.06-6947-1961 FAX.06-6943-7103

らの問合せに活用します。

日時 12/3 (火) 10:00~15:50  
 会場 大阪府建築士会 東会議室  
 定員 30名(申込先着順)  
 受講料 会員5,000円、一般9,000円  
 テキスト代 7,300円

### 建築紛争セミナー9

#### 危険な擁壁—そして沈下

9/20 CPD2単位(予定)

本会は、大阪弁護士会と共催で「建築紛争セミナー」を毎年開催しております。今回は擁壁・不同沈下が原因で発生したトラブルにおいて、法的・建築技術的な対応について多角的に分析し、弁護士及び建築士が解説いたします。実務に必要となる内容ですので是非ご参加ください。

日時 9/20 (金) 18:00~20:00  
 会場 大阪弁護士会館 10階1001・1002  
 (大阪市北区西天満1-12-5)  
 定員 60名(申込先着順)  
 参加費 無料

### 住宅を設計する仲間達交流会 ~建築家 大西憲司氏にきく~

10/9 CPD2単位(予定)

建築家の大西憲司氏をお迎えして、大阪建築コンクール大阪府知事賞に選ばれた「富田のコートハウス」等の作品について、対話形式でお話していただきます。若手設計者はもちろん、気持ちの若いベテランも大歓迎です。

日時 10/9 (水) 18:30~20:00  
 会場 大阪府建築士会 東会議室  
 講師 大西憲司氏(大西憲司設計工房)  
 参加費 会員1,000円、一般2,000円  
 学生500円  
 定員 50名(申込先着順)

### 第67回大阪建築コンクール受賞者講演会+トークセッション

10/11 CPD2単位(予定)

本コンクールは、建築士と社会との関わりを

通じて建築作品を評価し、そのすぐれた実績をたたえ、建築作品の設計者を表彰するものです。第67回は6作品が受賞し、これを記念して受賞者講演会をいたします。受賞作品のお話はもちろん、建築に対するそれぞれの思いを語っていただきます。

日時 10/11 (金) 18:30~21:15  
 会場 大阪工業大学梅田キャンパス 203  
 大阪市北区茶屋町1-45  
 参加費 無料(申込不要)

### 百舌鳥野高林家住宅訪問(プレ企画: 百舌鳥八幡宮秋祭り(ふとん太鼓奉納行事)見学)

12/15 CPD2単位

古代に巨大古墳が集中的に造営された台地の百舌鳥野で古墳やその歴史を守り伝えてきた旧家の非公開の重要文化財住宅を見学します。

日時 12/15 (日) 13:00~16:00  
 集合・受付  
 南海高野線中百舌鳥駅南出口階段下  
 12:45~13:00(時間厳守)

定員 30名(申込先着順)  
 参加費 1,000円(学生5名まで無料)

プレ企画として豊作を祈り満月を祝う風習の百舌鳥八幡宮秋祭り(ふとん太鼓奉納行事)を見学します。興味のある方は一緒に見学しませんか。9/22(日)JR阪和線百舌鳥駅集合で15:00には出発します。申込不要ですので、希望される方はその時間にお越しください。

### 第19回国際企画海外研修旅行 「タイ国 微笑みの国で微笑もう!」

2/20~25 CPD申請予定

今回はタイ国の北部チェンマイからスコタイ、アユタヤ、バンコクと巡ります。詳細は未定の部分もありますが、仮予約を受け付けております。仮予約に申し込まれた方には、後日詳細が決まり次第お知らせいたします。

日時 2/20(木)~25(火) (5泊6日)

定員 15名  
 参加費 25万円(※予定)  
 仮予約については事務局までご連絡ください。

## 行政からのお知らせ

### 建築物のライフサイクルカーボン算定ツール『J-CAT(ジェイキャット)』試行版の公開(国土交通省)

2050年カーボンニュートラルの実現に向け、建築物のライフサイクルカーボン算定ツール『J-CAT(ジェイキャット)』試行版が公開されておりますので、是非ご活用ください。

#### ■建築物のライフサイクルカーボン算定ツール試行版

[https://www.mlit.go.jp/report/press/house04\\_hh\\_001226.html](https://www.mlit.go.jp/report/press/house04_hh_001226.html)

#### ■ライフサイクルカーボンの算定手法の構築

<https://www.mlit.go.jp/report/press/content/001743089.pdf>

### 「建築人」Gallery掲載作品の募集

本誌「建築人」は毎月約3,000部を発行し、本会会員をはじめ官公庁、大学、図書館、出版社、報道機関等に頒布しています。Gallery掲載作品は「建築人賞」の候補となります。

●掲載記事 1頁カラー、写真4点程度

●掲載費用 100,000円

※1 初回割引80,000円(設計者および施工者が過去10年間、Galleryに掲載されていない場合)

※2 若手初回割引50,000円(40歳以下かつ建築設計事務所を主宰され※1を満たす方)

●詳細・申込 事務局担当:母倉  
 e-mail: [info@aba-osakafu.or.jp](mailto:info@aba-osakafu.or.jp)  
 TEL: 06-6947-1961

## 大阪府建築士会事務局の紹介

ご挨拶(牧田専務理事)

みなさん、こんにちは!今年4月に着任しました牧田です。お世話になります。

私事で恐縮ですが、大阪府庁に奉職していた若い頃に本会主催の一級建築士受験講習会を受講、資格取得を支援いただいたり、建築基準法Q&Aの発行、おおさか環境にやさしい建築賞の受賞パンフレット作成や大阪府北部地震後のブロック塀相談対応等、公私にわたり本会との繋がりがありました。

本会は「建築士の支援」と「社会への貢献」を目的とした常設部門の中に多くの委員会を設置し、建築士事務所やゼネコン、行政職員、大学教授など多種多様な業種の皆様が建築相談や災害支援、優れた建築物の表彰、講習会・見学会の開催など、様々な活動をされています。

事務局はこれらの運営の一部を担っており、個性豊かな各職員が持ち前の得意技を發揮し、日々業務に取り組んでいます。

会長、副会長はじめ会員の皆さんのお役に立てるようチーム一丸となって、楽しく元気に事務局を運営してまいりますので、ご支援ご協力よろしくお願いします。

事務局のあゆみ(中務常務兼事務局長)

1952年の創立以来、本会運営上の大きな分岐点は1957年の社団法人化を経て2013年の公益社団法人への移行です。

当初、在阪建築団体は移行手続きの多さもあって一般移行の傾向の中、本会ではそれま



辻本、中務、牧田、樋口、隅原、水野

での全活動がすでに公益目的であったこと、また官民への公益イメージは将来の社会貢献活動等の基盤になるとして、公益への移行を決定いたしました。

事務局の5年に亘る準備期間は、府担当を介した大阪府公益認定等委員会との諮問が続き、定款変更をはじめ全活動をあらためて公益であると認定していただく膨大な作業に終始しましたが、一方で事務局の存在を最大に發揮できた場面でもあります。

公益社団法人への移行後の本会の公益目的事業比率は、11年間で平均して85.7%(公益法人の基準は50%以上)を堅持しており、将来も建築士会会員の技術研鑽はもとより、会員及び社会への還元のための威力を發揮する礎として「公益社団法人」を掲げてまいります。

事務局紹介(隅原課長)

事務局は職員6名と嘱託職員2名、アルバイト4名からなり、定時総会や理事会・委員会の運営、定期講習や法定講習の実施、建築士試験の準備・運営等を担っています。

また、大阪府指定登録機関としての建築士資格登録・閲覧業務をはじめ、各種契約書類等の販売、行政庁や関係団体等との事業調整、予算の執行と会計管理、会議室の運用管理、会報誌の原稿作成や編集など、多種多様な業務を分担しています。

本会活動への照会やご質問等がございましたら、ぜひお気軽に事務局までご連絡をお願いします。

連絡先06-6947-1961

受付時間9:30~12:00、13:00~17:30

(土日祝、年末年始、夏期休暇を除く)



事務局



総会受付

## 建築情報委員会の活動の一片

建築情報委員会 委員長 松下典央

建築情報委員会の活動の様子を紹介いたします。

### ●委員会の主な活動



[建築情報委員会の活動は主に、ITの推進と会報誌「建築人」の編集です。](#)

### 1. IT推進活動

#### ①士会ホームページの管理・更新

現在、各種委員会の紹介サイトの再整理を行っています。

#### ②Teams活用推進

理事会や委員会でTeamsを活用し、各種資料の共有及び編集、リモート会議等の効率化を推進しています。

#### ③イベントカレンダーの作成・管理

委員会開催や各種イベントのスケジュールをホームページに公開しています。

#### ④動画撮影

総会やイベントの動画撮影、賛助PR動画のホームページ掲載等を行っています。

#### ⑤SNSのガイドライン作成

InstagramやFacebook等の掲載内容の基本的なガイドラインの検討を行っています。

### 2. 会報誌「建築人」の編集

#### ①Gallery建築作品の掲載

新しい建築作品の紹介をしています。

#### ②News of Note

各種イベントの報告や委員会等の活動の様子を掲載しています。

#### ③建築びとに訊く(5月号・8月号掲載)

さまざまな面から建築に関わる「建築びと」にインタビューを行い紹介しています。

#### ④建築人賞の選考

Galleryに掲載された作品を対象に1年に一度、顕彰しています。

### ●公共施設BIMカルテ管理システム



[公共施設の維持管理システムの構築の事業化を検討中です。](#)

大阪府内市町村の公共施設マネジメント実行計画に基づき、BIMによる施設カルテの作成を行い、自治体が保有する既存施設の維持管理等を恒久的かつ効率的に行うことができるよう検討しています。その実現性を検証するため、市町村に対し、提案とヒアリングを行っています。(田鍋部門長)



### ●ある日の委員会(※編集しています。)



[各委員の意見やアイデアにより、少しずつ課題解決を進めています。](#)

今年度はホームページの改定や建築人の記事の安定化と充実を主課題としています。

委員会での様子を少し垣間見てください。

委員長: 皆さんこんにちは。「建築人」の昨年度で連載が終わった、表2(表紙裏頁)の新しい連載をどうしましょうか。

委員A: 昨年度までの内容に味があったので、難しいですね。大阪府建築士会の会報紙なので、大阪に拘りたいですね。

委員B: ストレートに写真で表現するより、写真を見た人が大阪のまちを感じ取って貰えることをテーマにしてはどうでしょう。

委員C: 風景の一部から、大阪らしさを創造するのは、面白い企画になりそうですね。テーマは、大阪を「切り取る」とか「覗く」等の切り口が良いです。タイトルは、「キッテ大阪」とかインスタやネットで被らないように考えないといけない。

委員D: 大阪の風景と言えば「橋」なので、橋を使ってはどうでしょうか。

委員E: カメラマンの選定も必要ですね。

委員F: 会員の投稿参加型としたいですね。

委員長: 一度、橋の写真を持ち寄らしましょう。また、タイトル案考えましょう。

### ●委員会活動への参加・協力依頼!



[第3火曜日の17時から、士会事務所\(会議室\)で委員会を行っています。](#)

建築情報委員会の活動に興味を持たれた方は、気兼ね無くご参加ください。

また、次の情報や記事もお寄せください。

#### ①ホームページの改善点

#### ②News of Noteの掲載記事

#### ③インタビューを求めたい建築びと

#### ④表2のタイトル案や写真・記事

#### ⑤その他、建築情報などの提供

連絡先: 06-6947-1961(担当: 隅原)

### ●Gallery掲載作品大募集!



[Galleryに掲載して頂く建築作品の収集に日夜、奔走しています。](#)

皆さまの作品掲載をお待ちしています。

新しい作品の情報提供も大歓迎です。

Galleryに掲載頂いた作品の中から、一般部門と住宅部門に分けて、建築人賞や新人賞を選定しています。

連絡先: 06-6947-1961(担当: 母倉)



## 新たな時を刻み始めた庁舎建築

岡山県庁舎 一九五七年

文・写真 松隈洋「神奈川大学建築学専攻教授」

二〇二四年七月十一日、岡山県の戦後復興の象徴として一九五七年に建てられた岡山県庁舎を久方ぶりに訪ねる機会があった。二〇二〇年一月から、一五七億円を投じ、三年半かけて施工された耐震化工事が三月末に完了したことを知り、改修後の姿を見ておきたいと思ったからだ。案内役は、耐震化計画を担当し、工作中的二年間はその具体的内容を解説する冊子『岡山県庁舎一九五七―二〇二四』の作成など「建築魅力発

信業務」という仕事にも携わった建築事務所の片山大輔さんである。訪れると、建物の価値を細部まで調査して大切に守りながらも、執務環境の向上を図るためのさまざまな技術的な工夫が盛り込まれており、懐かしくも清新な姿で生き生きと使われ始めたその日常性に心ひかれた。同時に、ある感慨を覚えずにはいられなかった。というのも、筆者は、遠くから見守ってきたにすぎないが、片山さんへ受け継がれてきたこのブ

南西側から見る事務棟本館



ピロティにたずむ前川國男51歳と吉川清39歳  
一九五七年一月二十九日



ロジェクトに託された思いの連鎖を目標してきたからである。また、前川國男の下で県庁舎を担当した元所員の吉川清（一九一七―二〇二二年）さんが生前に語られたエピソードや、『記憶帳』と題する五冊の私家版ノート（一九九九年）に書かれた建設時の苦労や喜びの記述が思い出された。ここでは、これまでの経緯の一端を書き留めておきたい。

二〇一六年十一月、青森県弘前市の呼びかけで、前川の手がけた公共建築を持つ東京都、神奈川県、埼玉県、岡山県、熊本県、福岡市、新潟市の計八つの自治体（後に石垣市も加わる）により、「前川建築を含む国内の近代建築の観光資源化を促進」を目的とする「近代建築ツーリズムネットワーク」（会長・葛西憲之弘前市長）が結成される。その背景には、同年七月に、国連の教育科学文化機関ユネスコが、東京上野の国立西洋美術館（一九五九年）を含むフランス人建築家ル・コルビュジエ（一八八七―一九六五年）の手がけた世界七カ国にまたがる建築十七件を、「近代建築運動（Modern Movement）」への顕著な貢献」との評価により、世界文化遺産への一括登録を決定したという動きがあった。また、八件の前川建築が現存する弘前では、二〇〇四年から、「前川國男の建物を大切にする会」という市民団体による地道な活動が続けられていた。

との意見交換会にも加わる機会を得た。実は、その席で、初対面の岡山県建築指導課長の江端恭臣さんに、「岡山県には前川建築が三件もあるのだ。『東の弘前、西の岡山』として、ぜひ発信活動を進めてほしい」と、唐突なお願いを口にしたのである。

驚いたのは、その後の江端さんの行動力だ。自らの観光部局での経験も活かして、わずか九カ月後の同年十一月二日、岡山県の建築指導課と観光課を事務局に、瀬戸内の六県（兵庫、広島、山口、徳島、香川、愛媛）の建築と観光部局の関係者に呼びかけて、「瀬戸内の近現代建築を地域における貴重な文化資源と捉え、瀬戸内地域で連携してその魅力を情報発信し、観光資源化を図る」ことを目的とする「瀬戸内近現代建築魅力発信協議会」の設立会合の開催を実現させたのである。半ば行きがかり上、アドバイザーを依頼された筆者は、それから二〇二〇年三月末までの二年半、シンポジウムや見学ツアーで岡山に度々通うことになる。

る気候変動が日本でも顕在化し始めたのか、二〇一八年七月の西日本豪雨により、岡山県と広島県で甚大な被害を受け、江端さんらは、本務としての災害対応に追われる。そして、二〇二〇年一月に始まるコロナ禍の世界的な流行によって、残念ながら、その活動は休止を余儀なくされたのである。それでも、岡山県では、江端さんから有森達也さんへ、有森さんから現在の金光伸英さんへと建築指導課長がバトンタッチされる中で、課内に「建築魅力発信業務」という仕事が継続されていく。おそらく、そうした地道な取り組みの中で、県庁舎の耐震化工事の計画が進められたのだらう。こうした経緯にこそ、完成した岡山県庁舎に注がれた関係者の熱い思いが読み取れる。

さて、歴史を遡れば、岡山県庁舎は、前川にとって最初で最大の規模となる庁舎建築であり、戦前から温めてきた建物の内外がひと続きに広がる「一筆描き」と名づけた空間構成の方法を伸び伸びと実現できた会心の建築だった。ここに掲載する写真は、竣工検査前日の一九五七年一月二十九日、全館点灯試験の際の前川と吉川である。前川は現場所長に「やりましたね！」と語りかけ、「長い間たちつくしていた。あの瞬間は感無量であった」と吉川は『記憶帳』に書き留めた。それは、そのまま空襲で焦土と化した岡山の戦後復興を照らす灯にもなったに違いない。二〇二四年七月十九日、岡山県庁舎は国の登録有形文化財に登録されることが決まった。竣工から六七年、新たな時を刻み始めたその空間が関係者の思いをつなぎ続けてらっつっほし。

# 落ちなくて良かった、となる前に、 安全な場所、に変えておく。

大地震による天井落下から、人々を守りたい。  
FMS天井は、地震後にも天井機能の維持可能な優れた耐震性能を有する、軽くて画期的な耐震システム天井です。

機能維持耐震天井工法

# FMS天井

超軽量2.0kg/m<sup>2</sup>以下

耐震水平基準2.2G

軽量でも剛性のある特殊なクロス嵌合構造(特許取得)で、地震時の水平加速度2.2G・鉛直加速度1Gの負荷をかけても天井機能維持、建築技術性能証明を取得(GBRC性能証明:第23-13号)しています。面材に剛性を求めないため、断熱性、吸音性、防水性など用途に応じた思い通りの天井材を選択可能です。体育館やプール・病院・商業施設・公共施設など幅広い用途に。また構造への影響が少ないため、耐震改修にも向いています。



保寿賞  
公益社団法人大阪府建築士会賞



安田株式会社

[www.ashibane.co.jp](http://www.ashibane.co.jp)

アシバネ

検索

[www.facebook.com/ashibane.co.jp](https://www.facebook.com/ashibane.co.jp)

本社 〒542-0081 大阪市中央区南船場1-11-9(長堀安田ビル7F) TEL. 06-6251-7091 mail: info\_fms@ashibane.co.jp



南東外観：周辺の塀と連続したモルタル掻き落としの外壁の上に小屋が乗っかる構成とし、まちに対して小さなスケールの建ち方とした



1階居間：周辺と連続する塀を内部にも現し、腰窓による明るい上空が広がる床下のような居場所とした